

# 福生市公共サイン整備方針

概要版



福生市  
平成25年3月

## I 整備方針の目的等

### I-1 整備方針の目的等

#### (1) 整備方針の目的

本市では、これまで主要施設の立地に伴い、公共施設や市の代表的な観光施設などへの案内・誘導等に係る公共サインを適宜設置してきたところです。

しかしながら、各施設管理者においてこれまで設置してきた公共サインは、経年劣化等によりその設置目的を果たしていないものや、表示内容の整合性や表示の統一性が必ずしも図られていない状況であること、必要箇所に設置されていない場合があることなどから、今後の公共サイン整備に際し、基準となる方針を定める必要が生じてきたところです。

共通の方針に基づき、だれもがわかりやすく親しみやすい公共サインの整備を推進し、また、公共サイン整備とあわせた福生らしさを創出するため、統一的な基準や考え方及び福生らしい公共サインのあり方等を示すことを目的とし、本整備方針を定めます。

#### (2) 整備方針の対象区域

福生市行政区域内全域とする。(横田基地を除く)

### I-2 整備方針の対象

公共サインとは、人々にまちの地理、方向、施設の位置等に関する情報を提供する媒体である標識、地図、案内誘導板等の総称で、公的機関が公共空間に設置するものです。

本整備方針で対象とする公共サインは、公共施設や市の代表的な観光施設などへの案内・誘導等を目的とし、市が設置する案内・誘導サインや、位置を示すサインを対象とします。

#### (1) サインの種類

- 案内サイン** 施設等の全体像や位置関係等を表示するサイン
- 誘導サイン** 施設等の方向や距離を表示するサイン
- 位置サイン** 施設等の位置・名称を表示するサイン
- その他** 施設利用に関する情報を表示する説明サインや利用者に禁止、危険、注意を訴え行動を規制する規制サインなど

## II 整備にあたっての基本的な考え方

### II-1 公共サイン整備の基本的な考え方

本市の公共サイン整備にあたっては、以下の三つの基本的な考え方を重視します。

#### 1 だれもが安全・安心して移動できる公共サインの整備

- ユニバーサルデザインの視点を重視し、誰もが見やすく利用しやすい表示とします。
- 移動のために必要な情報をシンプルに表示し、表示面の見やすさを確保します。
- だれも見つけやすく、かつ歩行者等の移動の支障とならない位置に設置します。

#### 2 思いやり・おもてなしの心を大切にした公共サインの整備

- 移動ルートと分岐点、誘導拠点ごとに必要な種類のサインを効果的に配置します。
- サインに表示する掲載内容は、公共性の高いもの及び更新頻度の低いもので、正確かつ必要な情報であることを十分検討します。
- 子どもから高齢者、外国人などにも正しく理解できるよう、分かりやすい手法で表示します。

#### 3 景観に配慮し、福生らしさ、地域の個性が感じられる公共サインの整備

- サインのデザインは、景観や周辺環境に配慮するとともに、誘導案内に必要な機能や装飾を中心に、できるかぎりシンプルなものとし、
- シンプルで統一性・連続性のあるデザインを基本としながら、福生らしさ、地域らしさを感じるデザインとなるよう工夫します。

### II-2 福生らしい公共サイン整備のための基本的な考え方

公共サイン整備における「福生らしさ」の捉え方

#### 着目点 1 3つの景観ゾーン

「福生市まちづくり景観基本計画」景観づくりの方針で示された3つの景観ゾーン「川の手ゾーン」、「街の手ゾーン」、「丘の手ゾーン」は、景観まちづくりを進めていく上で重要なベースです。  
公共サイン整備においてもそれらのゾーニングに着目し、一体的・先導的な整備効果による福生らしさの実現を目指します。

#### 着目点 2 特徴ある資源

公共サイン整備にあたっては、市内に点在する「ふっさ十景」や「玉川上水散策コース」などの本市の個性であり貴重な財産などを広く市民に周知しながら、情報を発信し、遊歩道等の整備と一体的なネットワーク化を図るなど、個性がぎらりと光る福生らしさの実現を目指します。

#### 着目点 3 「外に出て歩きたくなる」まちづくり

だれもが安心して気軽に外に出たくなるまちづくりを推進し、優しさ、もてなしが感じられる福生らしさの実現を目指します。

サインの種別		案内サイン	誘導サイン	位置サイン		
目的		・鉄道駅を中心に主要公共施設や観光資源等を案内	・市街地内の主要公共施設へのスムーズな誘導	・公共施設や市内の主要拠点を基本に、施設の名称を表示		
配置・設置基準	配置の原則	・駅前や主要市街地幹線道路交差点など動線の結節点に配置	・誘導対象施設へ向かうルート上の主要な交差点(分岐点)で、歩行者の円滑な移動を妨げない位置に配置	・誘導する公共施設の名称を当該施設敷地内の出入口付近に配置		
	配置パターンイメージ					
	デザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイン表示板の基本形状は四角形を原則(誘導サインの表示板については別途デザインを検討)</li> <li>・必要な情報のみを的確に伝達できるシンプルなデザイン</li> <li>・原則として独立板型</li> <li>・利用者が無理な姿勢をせずに全面が確認できる形態</li> <li>・地図面下方のゆとりやすき間を取るなど配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視認性の高い矢羽根型を原則</li> <li>・必要に応じ路側型</li> <li>・景観と調和するシンプルなもの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横設置を基本</li> <li>・建物付帯型では安全性に、独立型では見やすさに配慮</li> <li>・施設デザイン、周辺景観との調和に配慮</li> </ul>		
	高さ	・表示面の高さの中心は、床面から1.25m程度	・表示面下端の高さは、原則として路面から2.5m以上	・設置する道路等の特性に応じ、表示面下端の高さを設定可	・誘導サインに準ずる	
	構造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・案内サインは低い視線への配慮と足下に蹴込み空間を確保</li> <li>・点字表示や触地図などは、材質選定に配慮</li> <li>・歩行者の事故を防ぐための反射板の設置や、清掃しやすい表面加工処理</li> </ul>				
表示基準	書体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和文、英文とも書体を統一</li> <li>→和文 : ゴシック系を標準</li> <li>→英文、数字 : サンセリフ系を標準</li> <li>→文章 : 明朝系を原則</li> </ul>			【書体例】 ゴシック系 <b>福生市役所</b>	サンセリフ系 Fussa City Hall ABCD fghijk 1234 /,.
	文字の大きさ	・文字高:和文9mm以上、英文7mm以上を原則	・文字高:和文60mm以上、英文45mm以上を原則	・文字高:和文80mm以上、英文60mm以上を原則		
	色彩	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者や色覚異常の方などが判別、認識困難な色の組合せを用いない</li> <li>・明度差はできる限り5以上</li> <li>・案内図の公園、河川等は違和感なく自然に見える色彩を使用</li> </ul>				【使用しない配色例】
	言語表示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語と英語の二カ国語表示を原則とし、必要に応じ日本語、英語のほか多言語表記</li> <li>・日本語表記については、誘導サインでは必要に応じ施設名を統一して簡略化、カンマや概数の使い方など一貫した数字の表記</li> <li>・英語表記については、固有名詞はヘボン式ローマ字、普通名詞は英語で表記(例 Fussa City Hall)、慣用上固有名詞と普通名詞に切り離せない場合は、普通名詞も含めローマ字表記とし、必要に応じ英文を付記(例 Shin okutama kaido Ave.)</li> </ul>				
	ピクトグラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイン表示においてピクトグラム(案内用図記号)を積極的に活用</li> <li>・原則としてJIS(日本工業規格)案内用図記号を使用</li> <li>・必要に応じ独自のピクトグラムの開発を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・矢印</li> <li>・距離表示</li> <li>・案内図表示</li> <li>・所在地表示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視認性の高いシンプルな形状、折れ矢印は原則使用しない</li> <li>・誘導サインには目的施設までの距離を併記</li> <li>・案内図の向きは、サインに向かって前方を上として設置し、現在地マークを原則案内図の中央に赤色で表示</li> <li>・案内図の種類に応じた適切な縮尺、方位、スケール、インフォメーションマークを表示</li> <li>・バリアフリー情報を表示</li> <li>・現在地の所在地及び管理者名等を記載</li> </ul>		

福生らしい  
公共サイン  
の整備

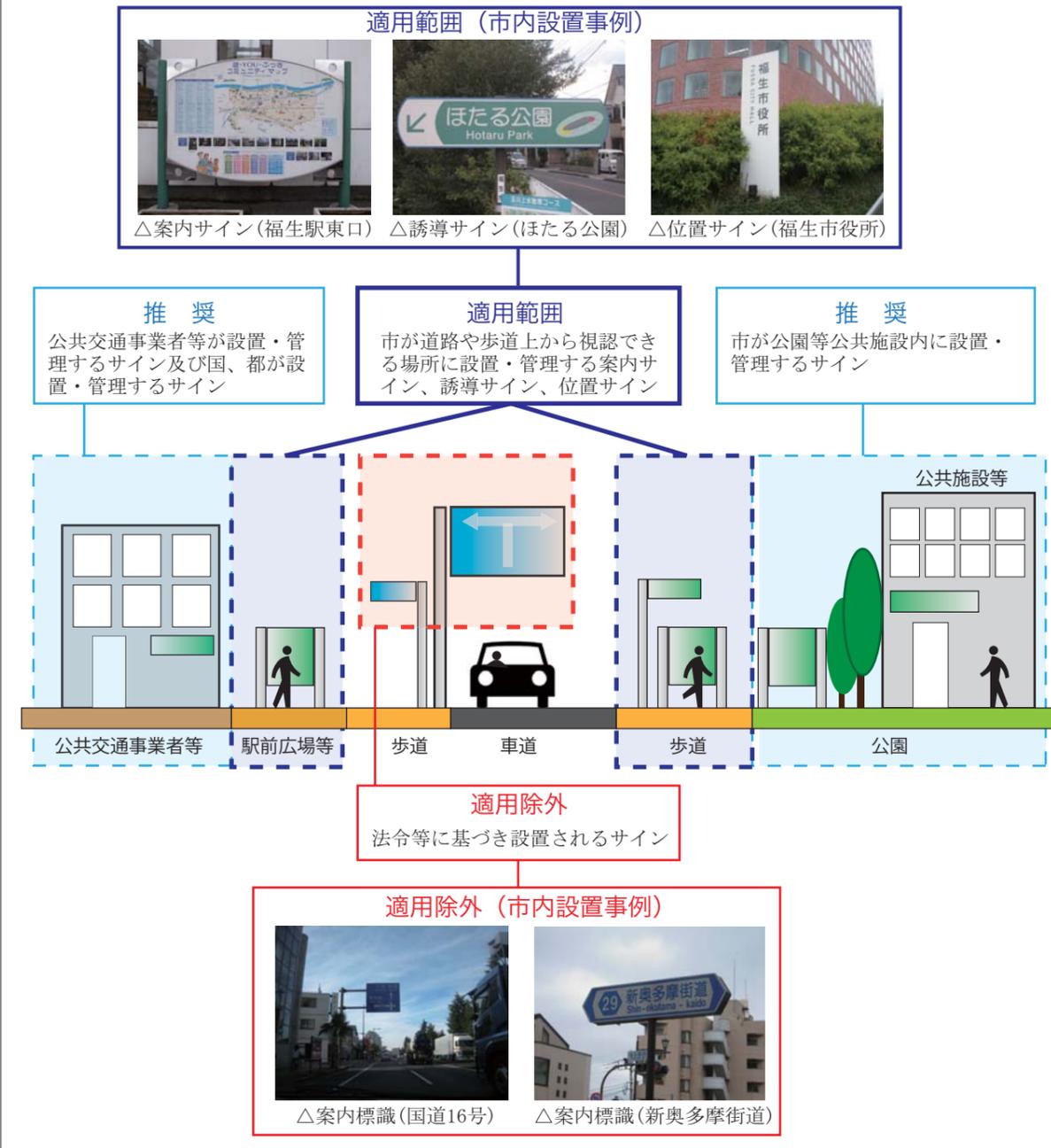
ゾーンカラー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福生市まちづくり景観基本計画における各ゾーンの景観特性を踏まえ設定</li> <li>・景観的に調和しやすく落ち着いた彩度を有する「日本の伝統色」から抽出</li> </ul>		
	<p>丘の手ゾーン⇒ <sup>こんぺき</sup>紺碧</p> <p>イメージ：台地に広がる紺碧の空 選定色：紺碧</p>	<p>街の手ゾーン⇒ <sup>しゅいろ</sup>朱色</p> <p>イメージ：にぎわい、ふれあい感じる朱色 選定色：朱色</p>	<p>川の手ゾーン⇒ <sup>ふかみどり</sup>深緑</p> <p>イメージ：水辺に連なる深い緑 選定色：深緑</p>
	<p>基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな自然環境に恵まれた本市の環境との共生をイメージし、また、景観的な配慮を念頭に「緑」をデザインの基調とする。</li> <li>・福生市の伝統的行事として多くの市民に認知されている「福生七夕まつり」についても福生らしさを表現するモチーフとする。</li> <li>・上記2つの福生らしさをデザイン化するにあたり、「笹竹」をモチーフとする。</li> <li>・誘導サインと案内サインにおいては、「丘の手」、「街の手」、「川の手」の各景観ゾーンを意識づけるため、支柱頂部に各ゾーンカラーを配置する。</li> <li>・来訪者等が現在置を確認でき、かつ緊急連絡時においても現在地を確認できるよう、所在地表示を支柱面に記載する。</li> </ul>		
デザイン方針	案内サイン[駅前案内サイン]	誘導サイン	位置サイン
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則として独立板型</li> <li>・言語表記等の表示方法、設置の高さ等の配置・構造については、特別仕様</li> <li>・「福生七夕まつり」をモチーフとしたデザインを採用</li> <li>・固定的な部材ではなく、可変性のあるデザインシステムを検討</li> <li>・「福生七夕まつり」の竹をイメージさせる色彩を採用するが、全てを同色とするものではない</li> <li>・次の各情報を機能的に分離して表示             <ol style="list-style-type: none"> <li>駅周辺の情報を示す案内図</li> <li>案内図に関連する施設情報(写真等掲載)</li> <li>駅周辺の観光情報</li> </ol> </li> <li>・基本的な地図情報のほか、目印となる公共公益施設や避難場所の図示及びその他必要な情報の表示を検討</li> <li>・おもてなしの気持ちを伝えるキーワードを記載</li> <li>・JISインフォメーションピクトグラム、「〇〇駅総合案内」、市章、所在地(設置場所の地番)を支柱に表記</li> <li>・言語表示は日本語、英語に2言語(中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語などのうち必要な外国語)を加え4言語</li> </ul> <p>【駅前立地型】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅周辺に立地する公共施設の案内図掲載</li> <li>・目印となる公共公益施設、避難場所等必要な情報の掲載を検討</li> <li>・多機能な案内サイン</li> <li>・可変性のあるデザインシステム</li> <li>・駅前周辺の観光情報等を発信する掲示面の確保</li> <li>・JISインフォメーションピクトグラム、「〇〇駅総合案内」、市章、所在地の表記</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表示板の形状は笹葉形</li> <li>・公共施設名の表記は原則日本語と英語の二言語 日本語は【ゴシック系】、英語は【サンセリフ系、ヘボン式】</li> <li>・ピクトグラムはJIS案内用図記号を基本に、必要に応じてオリジナルピクトグラムを作成</li> <li>・表示面地色：常盤色、文字・ピクトグラム等：白ぬき</li> <li>・支柱：多様な景観と調和するグレー系を基本とする</li> <li>・支柱上部：ゾーンカラーを配置</li> <li>・支柱面：設置場所の所在地表示、設置管理者を表記</li> </ul> <p>【誘導サインデザインイメージ】(参考例)</p> <p>※ここに示したデザイン参考例は本方針を踏まえ作成したもので実際に整備するものとは異なる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・位置サインについては、設置される施設とのデザイン関連性が強い為、詳細については基本方針を踏まえつつ適宜検討するものとする</li> </ul> <p>【誘導サイン設置イメージモニター】(参考)</p> <p>※ここに示したモニターは、スケール感等を把握するため作成したもので、実際の設置場所やデザイン等を示したのではない。</p>

## 対象とするサイン及び適用範囲

本方針は、市が道路や歩道上から視認できる場所に設置・管理する案内サイン、誘導サイン、位置サインに適用するものとします。また、規制サイン及び説明サインについては、配置目的や表示内容が多様であることから推奨とし、可能な範囲で適用を図るものとします。

その他、本方針の推奨、適用除外とするサインの範囲については、次に示す図のとおりとします。

図一 対象となる公共サインの範囲



発行 平成25年 3月  
 発行者 福生市  
 〒197-8501  
 東京都福生市本町5番地  
 編集 福生市 企画財政部 企画調整課  
 電話 042-551-1511 (代表)  
<http://www.city.fussa.tokyo.jp/>

